

件名：令和6年能登半島地震に関する志賀原子力発電所1号機の外部電源の補修に係る
面談

日時：令和6年1月9日（火）12時00分～12時10分

場所：原子力規制庁2階打合せスペース

出席者：

原子力規制庁 原子力規制部検査グループ 実用炉監視部門

村田統括監視指導官、菊川総括補佐、宮坂原子力運転検査官、伊藤原子力運転検査
官補、大山原子力運転検査官補

北陸電力株式会社（以下、「北陸電力」という）

原子力部 副部長 他1名

東京支社 担当

要旨：

○北陸電力から、志賀原子力発電所1号機の外部電源について、碍子の欠損等が確認された赤住線を補修する場合には、志賀原子力線から2号機を経由して1号機に受電する準備を進めており、志賀原子力線2回線が動作可能であることから、運転上の制限を逸脱するものではない旨の説明があった。

○原子力規制庁から、赤住線の補修作業を実施する場合は、事業者として安全確保をしっかりと確認した上で作業を進めるようコメントし、北陸電力から了解した旨の回答があった。

提出資料：

- ・ 1号機の外部電源について
- ・ 赤住線(66kV)補修に向けた受電切替